

(1) 学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取組に関する成果や課題
小中高の一貫した教育内容の整備・地域と連携したキャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 児童・生徒の卒業後の進路を見通した教育活動を行えるよう教員研修を行う。 ② 基盤となる教育課程の整備、改定を行う。 ③ 個別の教育支援計画の効果的な活用を図る。 ④ 教育課程BCD別に、履修する児童・生徒の担任が学部を越えて集まり教育内容や教育支援について情報を交換し研修する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 夏季研修、保護者研修（分校共催）、6事業所の見学会、事業所による本校見学と教職員との懇談会を実施。 ② ・アセスメントシートの改訂版を1月に提案。 ・時間割等も併記した新しい形式の教育課程表を作成。 ③ 中学部、高等部進学時に、個別の教育支援計画に基づいた引き継ぎを行う。 ④ 分校と連携し、年2回全校で教育課程別研修会を実施。教育内容や教育支援について情報交換し研修できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 教員研修・保護者研修（事業所見学会含む）は有意義であり満足度も高かったことから次年度も継続。 ② ・アセスメントシート改訂版の活用 ・来年度教育課程検討委員会を新設し、さらなる教育課程の整備・改訂に取り組む。 ③ 個別の教育支援計画に基づいた引き継ぎを継続。 ④ 『小中高の一貫した教育内容の構築』については、内容や方法の工夫し、取り組みを継続。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校の情報を学校便りとして発信する。分校の様子も含めて情報発信をして保護者への理解を深める。 ② 進路だよりを発行 ③ 学校ホームページを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 学期に1回学校だよりを発行。 ② 過去の進路状況、職場実習の様子などを進路だよりとして発行。分校の進路だよりも配布。 ③ 学校ニュースを月1回以上更新。学校便りとコーディネーター便りもHPに掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> ①②③保護者アンケートでは、学校からの情報発信について、学校全体や進路、将来に関係する内容についてよくわかる、参考になるという的な意見や高い満足度（89%満足）が見られた。学校だより、進路だより、学校HPは今年同様に取り組む。
教職員の資質・組織力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校全体の諸問題に関わる課題を明らかにし、学校の組織力を高める。 ② 職員の人権感覚を高める研修を行う。 ③ 病棟児童生徒の学習活動の充実をめざし、病棟関係者との連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎月2回目の運営委員会で情報や課題の共有を図り、問題解決に向けての方向性や行事の精選・取り組み方の工夫、課題に学校全体としてとらえた話し合いを実施。 ② 「ソーシャルスキルトレーニングの実際」として参加形式の研修と、「部落問題を解決するための教育の推進に向けて」の学習会形式の研修を実施。 ③ 杉の子連絡会、ひまわり連絡会を各月1回、学期末には生徒指導懇談会を実施し、連絡調整をうまく図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 運営委員会の他、学部長会を週1回程度持つなどの工夫をすることにより、情報や課題の共有が進んだ。タイミングを逃さない詳細な情報共有により、諸課題に対して危機意識をもつことができ、改善に向けての動きがスムーズになるという意見も多いので、継続していく。 ② 実施後の教員の満足度も高く継続実施の方向で進めるが、時期については検討が必要。 ③ 継続実施。
センター的機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ① 教育相談、就学相談などの地域支援事業を随時行う。 ② 分校高等部へのスムーズな移行を支援。 ③ 学校間交流及び居住地校交流の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 教育相談、就学相談（総計937件2/10現在）などの地域支援事業を実施し、全ての研修会への参加者の満足度95%以上。 ② 分校高等部へのスムーズな移行を支援するため、卒業生連絡会、分校見学会（中2）、分校体験（中3）を実施。 ② 交流校への職員研修講師派遣や資料作成を実施 	<ul style="list-style-type: none"> センター的機能の充実をさらに進めるため、継続して実施予定。
防災教育	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校安全計画の作成と実施。 ② 防災委員会の設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校安全計画作成と危機管理マニュアルの整備 ② 年間6回防災委員会を実施し、避難訓練の充実とスクールバス避難訓練への取り組みを開始。重点的な取り組みである事への保護者認識や満足度が大きく上昇した。（66%→85%） 	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校安全計画の有効活用に向けて本格実施を開始する。 ② 『防災マニュアル』『スクールバス引き渡し訓練』を重点項目に挙げて、さらなる充実をめざし、本校分校合同防災委員会で取り組みを進める。

効 率 化 学 校 運 営 の	① 行事の精選と分掌間の連携の強化による学校運営の効率化向上をめざす。	① ・高等部の入学選考と小中学部の体験入学を同日実施に変更。サマースクールを実施の目的や実績から見直した。 ・過重労働時間は昨年とほとんど変化なく、目標達成には至らなかった。	① ・行事の精選に加え、配布文書、提出文書等の見直しには継続して取り組む。病棟版サマースクールのみを行う事に変更。 ・勤務時間の縮減を行動計画に掲げ、目標達成に向けて更に努力する。
--------------------------------------	-------------------------------------	--	---

(2) 組織の状態の評価結果

アセスメントから明らかになった状況	
強 み	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画を有効に活用し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズや障がい特性に応じた教育活動を行っており、保護者の満足度が高い。 ・年度の間および年度末に行動計画の進捗状況や改善すべき点を明らかにし、改善につなげるしくみが確立している。 ・教育相談・就学相談等の地域支援を始めとする地域のセンター的機能が充実している。 ・やりがいを感じ、管理職・同僚と相談しながら仕事を進めている体制に満足している教職員が多い
弱 み	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドもなく、教室等に全く余裕がなく、作業学習や体育の授業で大きな制限がある。 ・4つの教育課程があり、通学生・入院生の食事の時間が異なる等の物理的問題もあり、課程間での情報共有や連携に知恵や工夫、大きな労力を必要とする。 ・本校分校間の情報共有・連携を更に進めて行く必要がある。(防災教育・防災対策、本校から分校への進学)

(3) 学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者評価委員会の実施内容等	
<実施回数> 3 回	
内 容 実 施	第1回 (H. 25, 6, 17) : 平成25年度学校経営の改革方針についての説明 第2回 (H. 25, 10, 11) : 学校見学(石薬師分校生徒の本校での学習発表会の見学含む) ・平成25年度行動計画の中間評価について ・給食試食 第3回 (H. 26, 2, 14) : 学校評価報告書に基づいた協議

(4) 学校関係者による評価結果

学校関係者評価から明らかになった改善課題	
関 係 者 評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の情報発信を継続していくことと同時に、地域のコミュニティの拠点となるフラワーパークなどを地域との関わりの拠点として利用したり、作品等の販売などを検討したりする方法もあるので検討してほしい。 ・今後もさらにセンターとしての機能を充実させていってください。 ・障がい者の雇用率の上昇をめざし、利益やスピードだけを追い求めるのではない企業を見つけてください。 ・鈴鹿市の就労マルシェなどで、地域や企業などとのつながりを深めていき、就労先の開拓を行ってほしい。 ・学校が狭いことや、グラウンドがないなどの物理的制約に関しては、行政へのアピール・働きかけをさらに強化していただきたい。

(5) 組織力向上のための取組(改善策)

次年度に向けた取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育についての研修を積み、小中高の一貫した教育内容の整備や地域等と連携したキャリア教育を推進していきたい。 ・学校安全計画に基づき、「安心・安全」の視点から各学部・分掌の行動計画を見直し、実践につなげていきたい。 ・地域の特別支援教育のセンター校としての機能の更なる充実と、関係機関との連携を図っていきたい。 	